



横須賀市自然・人文博物館  
神奈川県横須賀市深田台95  
046-824-3688

<https://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp>



もくじ

巻頭特集：企画展示「浦賀からやってきた資料たち」	1
おうちで博物館「横須賀市博ムービーチャンネル」	2
博物館オリジナルグッズ、販売中！	3
博物館実習性が制作した写真展 本館	4
下の広場・下の池を明るくします！ 馬堀自然教育園	4

## 巻頭特集 企画展示「浦賀からやってきた資料たち」を開催します

令和2年(2020)は、相模国三浦郡西浦賀村(現神奈川県横須賀市西浦賀)の地に、幕府の出先機関である「浦賀奉行所」が開設されてから300年目の年にあたります。

浦賀は江戸湾の入口に位置し、船舶の碇泊に適した良港として、16世紀には後北条氏による水軍の拠点となっていたとされます。

天正18年(1590)に徳川家の所領となり、文録3年(1594)には検地によって高請され、近世の村としての「浦賀村」が成立します。その後、元禄5年(1692)6月、浦賀村は湊を挟んで東岸の「東浦賀村」と西岸の「西浦賀村」とに分かれました。

そして、享保5年(1720)12月には、西浦賀村の地に浦賀奉行所が設置されます。浦賀奉行所では、江戸へ出入りする船舶などを検査・監督するなど「海の関所」としての機能をもつほかに、領地となる村々(役知・預所)の支配運営を行うことや、海から侵入する敵から江戸を守る「海防の拠点」にもなりました。

業務の遂行にあたっては、浦賀奉行所の長官である「浦賀奉行」が旗本(徳川将軍の直臣)から選任され、その下に与力、同心などの役人が配置されました。

### 【展示のみどころ】

#### ■江戸時代から昭和戦前期

今回の展示では、主に江戸時代から昭和戦前期に至る



左上写真：浦賀絵図  
右上4枚組写真：旧家に伝わる品々(左上から時計回りに、ひな人形、螺鈿の重箱、方位磁石、装飾品)  
左下写真：左から、浦賀船渠株式会社造船工場分解図、山海見立相撲 相模浦賀

浦賀地域の歴史・民俗に関する資料を展示します。近年収集したばかりの資料も出展します。貴重な資料をご覧ください。

#### ■浦賀奉行所跡発掘調査の最新成果

近年、横須賀市教育委員会によって行われた浦賀奉行所跡地発掘調査により出土した様々な考古資料を展示します。

#### 【展示期間】

令和2年(2020)10月31日(土)～

令和3年(2021)2月28日(日) ※休館日を除く

(開館時間：9時～17時)

#### 【展示場所】

本館3階 特別展示室

(文献史学担当 藤井)

## 編集後記

今号は、コロナ禍でも博物館を楽しんでいただけるよう企画した「横須賀市博ムービーチャンネル」の紹介を掲載しました。この取り組みは継続しつつも、早く元通りの博物館になることを願っています。(瀬川)



# おうちで博物館「横須賀市博ムービーチャンネル」

博物館では今年4月から動画投稿サイトYouTubeを活用し、三浦半島の自然や歴史、展示解説などの動画を投稿しています。以下にその一部をご紹介します。

## 「横須賀市自然・人文博物館」紹介動画

横須賀市自然・人文博物館ってどんなところ？当館の見どころや展示風景をご紹介します。

## 「おうちでできる！ウミウシ拡大模型づくり 前編・後編」

小学校5年生以上を対象に、紙ねんど工作による模型の創作体験と、その過程の観察によって体のつくりを学習するためのコンテンツです。簡単な道具と材料があれば作れる「アオウミウシ」の模型を紹介しています。



「ウミウシ拡大模型づくり」

## 「およそ3分はくぶつかんシリーズ Vol. 001 ~ 004」

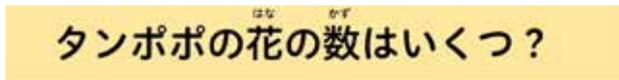
博物館に関する「およそ3分」の動画シリーズで、『カブトムシの幼虫』、『カブトムシの変化』、『カワトンボの仲間』、『チャイロスズメバチ』の4本があります。



「チャイロスズメバチ」

## 「タンポポの花びらは何まい？」

タンポポの花は茎の先に1つだけに見えるように見えますが、実はそうではありません。いくつかの花があって、花びらは何まいあるのでしょうか。花のつくりや形をよく見てみましょう。



- ① 1
- ② 約150
- ③ 約300



「タンポポの花びらは何まい？」

## 「地層：深海から生まれた三浦半島」

地層や化石による三浦半島の生い立ちを解説。深海に

泥や火山灰が積み重なり、プレートが動き、地層が押し上げられて陸地となった。これが三浦半島です。



ななめになった層もあります。

「地層：深海から生まれた三浦半島」

## 「これなーに？①～④」

小学校3年生が、むかしの道具を学習するための動画です。むかしの道具の一部が映しだされ、形などをヒントに答えてもらうようにできています。



「これなーに？」

## 「江戸時代の妖怪 アマビエの記事をよむ」

江戸時代に描かれた妖怪について紹介します。近年、病を予言する妖怪として世間の話題となった「アマビエ」に関する記事です。



「アマビエの記事をよむ」

## 「横須賀製鉄所首長ヴェルニーさんの家/副首長ティボディエさんの家」

幕末期の横須賀に建てられたフランス人の家を再現。ティボディエさんの家は建築技術の歴史上でも国内第1級の価値を有する歴史遺産としても注目されています。



「ヴェルニーさんの家」



# 博物館オリジナルグッズ、販売中！

博物館では、研究報告などの定期刊行物のほか、様々なオリジナルグッズを制作・販売しています。今号ではそのラインナップを写真やイラストでお示しするとともに、それぞれの販売窓口（2020年内を予定）もご案内します。

**缶バッジ** 各 50 円



ナウマンゾウ（復元）



ナウマンゾウ（骨格）



本館シルエット



オオスズメバチ



萩風（はぎかぜ）  
2019 Ver.



不知火（しらぬい）  
2019 Ver.

本館 限定



カブトムシ



コクワガタ



ゲンジボタル

本館（ガチャガチャ）および 馬堀自然教育園 限定



萩風（はぎかぜ）



不知火（しらぬい）  
ヴェルニー記念館



萩風（はまかぜ）

限定



陸奥（むつ）



アオウミウシ



シロウミウシと  
コモウミウシ



ハマモトと  
アオシヤゲハ



天神島  
マスコットキャラ

天神島臨海自然教育園 限定

**ピンバッジ** 各 500 円 全施設で販売



ウミウシ



ソラスズメダイ



ハニワ



ハマボウ



ゲンジボタル

**ミニタオル** 各 200 円（缶バッジ1個付き！）

※ 本館（ガチャガチャ）限定



ミニタオル（青）



ミニタオル（緑）

**トートバッグ** 大 1,500 円 小 1,000 円 全施設で販売



トートバッグ 大（黒）



トートバッグ 大（緑）



トートバッグ 小（黒）



トートバッグ 小（赤）

**最近の刊行物**

1,000 円

本館とヴェルニー  
記念館で販売



『三浦半島の漁撈用具  
コレクション』

500 円

本館、馬堀自然教育園、天神島臨海自然教育園で販売



『身近な昆虫 365』

50 円

本館と馬堀自然教育園で販売



『馬堀自然教育園  
たんげん図鑑』

100 円

本館と天神島臨海自然教育園で販売



『天神島冒険図鑑』

# 博物館実習生が制作した写真展

本館



博物館では今年度も8月18日から28日にかけて、大学で学芸員資格取得を目指す学生を対象に、博物館実習を実施しました。実習生は12名、博物館のいろいろな業務を体験して学んでもらうだけでなく、実習での学びを生かして写真展を制作するという課題にも取り組んでもらいました。制作に当たっては、自然と人文2つのグループに分かれ、取り組みました。(昆虫学担当/実習担当 内船)



植物標本についての実習(左)と、制作した展示の発表(右)



自然グループ制作「実習生が見た博物館のウラガワ」。資料収集や標本作成、登録、計測、展示などの場面を写真で紹介。

左の展示は、自然グループによるものです。博物館の資料たちがどのように博物館にやってきて、どのような工程を経て来館者の目に触れるようになるのかが、写真によって分かりやすく説明されています。

(地球科学担当/自然グループ担当 柴田)

右の展示は、人文グループによるものです。人文グループ6名は、博物館やヴェルニー記念館の展示をちょっと違う角度から紹介しています。ぜひ、実習生おすすめの展示をご覧ください。

(民俗担当/人文グループ担当 瀬川)



人文グループ制作の展示。普段は気づきにくい方向から撮影し、新たな魅力を紹介している。

## 下の広場・下の池を明るくします！

## 馬堀自然教育園

馬堀自然教育園の入口近くのエリアである、下の広場と下の池では、今年度から「原っぱや水辺の自然遊びが楽しめるエリア」を目指して、草刈りを重点的に実施しています。6～9月は植物の生長が盛んなうえ、気温が高く草刈りも大変な季節ですが、馬堀自然教育園のスタッフが少しずつ草刈りを進めた結果、写真のように明るく、自然遊びが楽しめる環境に変わってきました。



斜面緑地。段階的に草刈りを行う。



下の池につながる水路。草が刈られて川面が見やすくなった。

下の池に注ぐ水路は、池の手前で蛇行(だこう)させることにより、ゆるやかな流水の水辺環境をつくっているのですが、これまでは下草に覆われ川面のように見えませんでした。今夏の草刈りでは、この水路周辺の下草も刈り取ることができたので、ゆるやかな水路の流れが見やすくなりました。

下の広場の斜面草地では、草刈りと植物の生育のちょうどいいバランスを模索しています。一気に刈り取ってしまうと、周辺から移動してきたバッタなどの植食性昆虫たちが再び逃げてしまいます。ひと通り刈り終わった時に、刈り始めの場所で植物がある程度生育しているよう、夏には草刈りのペースに気をつかいながら行っています。

(昆虫学担当 内船)

### メールマガジン配信中！メルマガに登録しよう！！

展示やイベント、読み物「学芸員 自然と歴史のたより」などを配信しています。

◎登録は簡単！博物館HPでE-mailアドレスを入力！

①右のQRコードを読み込み、博物館ホームページ内の「メールマガジン登録・変更・解除ページへ」をクリック！

②「登録・解除フォーム」にE-mailアドレスを入力して「登録」ボタンを押す！

URL ⇒ <https://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/mailmagazine>



Twitter & Instagram

博物館の活動やお知らせについて発信しています！

ycm\_yokosuka 検索